

二月二日

八時前起床。昨夜の会は面白かった。石原裕次郎という大スターのまわりにあったのだから雰囲気もチョップとを感じる事が出来た。明るかったんだ何しろ。ネパールの混乱が続いているようだ。カトマンズの王宮前の広場に迷彩戦闘服を着た兵士達が銃を持ち群がる写真が新聞にあった。ギャネンドラ国王の王政復古への国王によるクーデターの趣があるようだ。地方を中心に国土の6割を毛沢東主義者（毛派）に制圧され、国軍と毛派軍隊との衝突に発展すれば、ネパールも内乱状態になる。キルティプールでのワークショップでも集落を調査した学生達が実に多くの中国からの政治的影響を採取していたのを思い出す。ナワルコットの平安、インナーヒマラヤの多様な集落にあった高貴さはどうなってしまうのだろう。ネパールは子供の病気による死亡率を克服する事にだけ国政を傾注させ、他はそれぞれの集落での自給自足状態を守り、鎖国状態にしてしまった方がよい。中国とインドという二十一世紀に軍事大国化するであろう国家に挟まれてネパールはもみくちゃになってしまっただろう。ネパールを再訪できるかも解らぬ状況になってきた。カトマンズ空港も非常事態宣言により閉鎖されてしまった。キルティプール・ワークショップで世話になったトウクチュの名主の子孫であるジイニイはそれを察知して、タイに大きな土地を買っていた。しかし、それがブーケットだった。大津波でブーケットは大被害を受けた。どうなってしまったか知る事も出来ない。カンボジアの軍事政権も何時どうなるか知れない。

プノンペンひろしまハウスにはアジアの平和研究所を設立できれば良いのだがなあ。平和というのは作りあげねばならぬのだという平岡さんの考えのリアリティは重くなるばかりだ。

午前中は世田谷村で休む。

出来上がった銅板二点綿貫さんに届けようかと思いつく。銅板彫ったり好きな仕事ができる事の有難さを想う。十三時時の忘れものギャラリィ。銅版画2点綿貫さん、刷師の白井さんに渡す。昨年刷った版画の彩色作業を十六時迄。十七時五反田TOCTモコーポレーション。友岡社長と打合わせ。十八時過友岡清忠君と地階の寿司屋で会食。社長も同席。ペーパービジネス、農村計画その他の件打合わせ。二〇時半了。二十二時頃世田谷村に戻る。新しい銅板三枚持帰る。